

科目名	図書館情報技術論		科目コード	5311	
開講学科	司書課程	単位数	2	形態	講義
教員名	村岡和彦				
授業の目的及びテーマ					
到達目標：コンピュータやインターネットの仕組みについて学修し、データベースや図書館業務システムについて学修し、図書館業務に活用することができる。テーマ：情報社会といわれる現代は情報通信技術 (ICT) の活用は不可欠である。図書館においても ICT を活用したサービス提供が重要であり、ICT の技術的側面の理解と活用について学修する。					
授業概要					
現代の図書館は ICT 技術の活用なくして図書館サービスは非常に困難と言える。教科書に沿って、コンピュータの仕組み、ネットワークの仕組み、無線 LAN、コンピュータ管理等、さらに図書館業務システム、IC タグ等のモノの管理、デジタルアーカイブ、インターネットと図書館、API 等を、教科書に沿って学修する。					
授業計画					
第 1 回：情報技術と図書館：情報社会と情報の流通と情報技術について学修する					
第 2 回：コンピュータと情報技術（1）：コンピュータの仕組みとデジタル表現、文字コード、ソフトウェアとハードウェア、図書館におけるコンピュータ利用について学修する					
第 3 回：コンピュータと情報技術（2）：サーバーとは何か、図書館の情報端末とは何か、コンピュータシステムの管理、セキュリティ管理、各種ログ管理、電源、空調、システムバックアップ、クラウドサービス、災害時対応					
第 4 回：コンピュータとネットワーク（1）：情報はネットワーク上を流れる。ネットワーク基礎、館内 LAN への機器の接続、通信規約（プロトコル）の役割、館内ネットワークの構成を学修する。					
第 5 回：コンピュータとネットワーク（2）：ネットワークの設計と「ネットワーク要求仕様書」の事例を学修、各端末等の配置の事例と特徴を学修する。					
第 6 回：図書館業務システムの仕組み：図書館業務システムと「図書館業務システム要求仕様書」の事例を学修、図書館業務システムの各サブシステム、各データの流れ、書誌情報と MARC について、Web-API を学修する。					
第 7 回：インターネットと情報発信（1）：インターネットの基礎知識、インターネットと図書館、ブラウザの役割、情報発信とソーシャルメディア、HTML、CSS、コンテンツ管理システム (CMS) 技術を学修する。					
第 8 回：インターネットと情報発信（2）：ホームページ作成とその背景技術、マークアップ言語とは何か、マークアップ言語の役割を学修し、活用方法について学修する。					
第 9 回：データベースの仕組み：図書館の情報は何で管理されているのか、データベースとは、データベースと検索、OPAC との関連、SQL とシステム開発言語の概要を学修する。					
第 10 回：検索エンジンの仕組み：情報を探すとは、検索エンジンとは何か、OPAC との違い、検索エンジンの動向、人工知能 (AI) と検索エンジン、知識計算エンジンとは何かを学修する。					
第 11 回：図書館における情報技術の活用：書誌情報と情報技術、書誌ユーティリティ、図書館が持つデータが図書館外の世界とつなげる Linked Data、ネットワークの情報資源とメタデータを学修する。					
第 12 回：電子資料の管理技術：電子資料の特性、図書館と電子資料の多様化、電子資料の管理技術、電子書籍と電子ジャーナルの管理を学修する。					
第 13 回：電子図書館とデジタルアーカイブ：紙とデジタルのハイブリッド図書館、電子図書館、所蔵資料のデジタルアーカイブと電子化技術を学修する。					
第 14 回：図書館とモノの管理：バーコード・IC タグ・カラーコード・ビーコンと蔵書管理・自動貸出・返却、スマホ（スマートフォン）とプッシュ型情報提供機能、自動書庫を学修する。					
第 15 回：図書館システムの動向：クラウド・コンピューティングと図書館、図書館システムの共同運用、シングル・サイン・オン (SSO) を学修する。					
テキスト	現代図書館情報学シリーズ 3 杉本重雄 編集「図書館情報技術論」 樹村房 ISBN 978-4-88367-203-5		参考文献		
評価方法：					
課題 2 課題と最終課題による					